

【タイトル】

地球神の見えざる手

【プレイ人数】

3～4人

【プレイ時間】

20分

【対象年齢】

10歳以上

ゲームデザイン

Supported by さとーとしき (@toshikis227)

【ゲーム概要】

プレイヤーは地球型惑星の神となり、さまざまな天災や技術革新を通じて人口を増やし、温度を適正に保つことを目的とします。



【ゲームに使用するもの】

- ・ ゲームボード：4枚
- ・ イベントカード：36枚
人口イベント：18枚(1世代：6枚、2世代：6枚、3世代：6枚)
温度イベント：18枚(1世代：6枚、2世代：6枚、3世代：6枚)
- ・ 神の手カード：36枚(9枚×4人分)
- ・ 人口キューブ(青)：48個
- ・ 温度キューブ(赤)：48個
- ・ スタートプレイヤーマーカー：1個

【遊び方】

<ゲームの準備>

- ・ 各プレイヤーにゲームボードを1枚ずつ配ります
- ・ ゲームボード上に人口キューブ7個、温度キューブ7個を並べます
- ・ 神の手カードを1セット分(1~9の9枚)を受け取り、すべて手札として持ちます
- ・ 最近環境にやさしいことをしたプレイヤーがスタートプレイヤーマーカーを受け取ります
- ・ イベントカードを人口イベントの世代ごと、温度イベントの世代ごとの6つごとに分け、すべて裏向きにしてシャッフルし、全部で6つの山を作ります
- ・ 人口イベントの1世代目のイベントカード山札から2枚、温度イベントの1世代目のイベントカード山札から2枚を表向きにします

<ゲームプレイの流れ>

1. 各プレイヤーは神の手カードを1枚秘密裏に選び、「いっせいのせ」で全プレイヤーが表向きにします。
2. 最も大きなカードを出したプレイヤーから数字の大きい順に表になっているイベントカードを1枚獲得し、カードに描かれている条件に従ってゲームボード上の人口キューブ、温度キューブを増減させます。
もし数字が同じだった場合(バッティングした場合)は、先に数字が被ってないプレイヤーからイベントカードの獲得を行い、その獲得が終わったらバッティングしたプレイヤーのうち、数が大きくスタートプレイヤーに近いプレイヤーからイベントカードを獲得します

人口キューブが12個を超えたら、超えた分は温度キューブから減らします。

温度キューブが0個を下回ったら、下回った分は人口キューブから減らします。

人口キューブが0個を下回ったら、ゲームから脱落します。

温度キューブが12個を超えたら、ゲームから脱落します。

3. キューブの増減を終えたら、新しいイベントカードを人口イベントカード山札から2枚、温度イベントカード山札から2枚を表向きにします。

いまの世代の山札がなくなったら、次の世代の山札から表向きにします。

スタートプレイヤーマーカーを左となりのプレイヤーに移します。

<ゲームの終了条件>

途中脱落したプレイヤーを除き、すべての神の手カードをプレイし、9枚のイベントカードを手に入れたらゲーム終了です。

<得点計算>

脱落していないプレイヤーの中で、人口キューブの数から温度キューブの数を引いた値が最も多いプレイヤーの勝利です。

上記の値が同じ場合は、人口キューブの多いプレイヤーの勝ちです。それも同じ場合は勝利を分かち合しましょう。

<補足>

ゲーム後、どのようなカード獲得したかをプレイヤー同士で発表しあうと、その星がどのような歴史を経てきたのかがわかり、楽しいです。